

令和5年度 こども園における自己評価 八尾市立南山本せせらぎこども園

4: 十分達成している 3: ほぼ達成している 2: 検討を要する 1: 改善を要する

項目	内容	評価	備考欄
教育・保育目標について	・ 目標の具体化に向け、乳幼児の実態を踏まえた重点目標を設定しているか	4	園目標や研究テーマに向けて連携を取りながら職員間で共有し、保育の充実に務めた。
	・ 目標は、各施設や地域の特徴を生かしているか	4	
	・ 目標は、社会の要請や保護者の願いを反映しているか	4	
	・ 目標は、前年度の反省を活かしながら全職員で検討し、かつ共通理解を図っているか	4	
教育・保育内容について	・ 指導計画は、教育保育計画に基づき作成しているか	4	毎月、学年ごとに主幹保育教諭と一緒に子どもの姿や取り組みについての振り返りと次月に向けての検討を行い、カリキュラムを立てて実践するようにしている。
	・ 毎月の指導計画は、乳幼児の実態に即して作成しているか	4	
	・ 月ごとに指導計画の評価・見直しをし、その結果を指導計画に反映させているか	4	
	・ 1日の流れ（ディリープログラム等）は、前日の評価をもとに日々改善に努めているか	4	
	・ 行事のねらいに沿った計画を立て、適切に実施しているか	4	
	・ 幼保連携型認定こども園教育・保育要領に基づく援助・支援を適切に行っているか	4	
	・ 自主性や主体性を重んじて生活習慣が身につくようにしているか	4	
	・ 子どもの姿を見取り、興味関心に応じた教育・保育を行っているか	4	
	・ 子どもの発達や成長につながるよう環境の構成や援助の工夫をしているか	4	
	・ 同僚性を発揮し、保育のねらいや育てたい力を話し合い実践しているか	4	
	・ 素材・用具を適切に活用しているか	4	
	・ 保育サポートのための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮しているか	4	
	・ 子どもの人権に十分配慮し、互いに尊重する心を育てているか	4	

項目	内容	評価	備考欄
健康・安全について	・食育を通して、子どもたちが楽しく食べ、食べる意欲が育つように工夫しているか	4	近隣の施設との交流を再開したが、安全面についての連携まで至っていない。
	・食物アレルギーは、個別に配慮して食事を提供しているか	4	
	・年齢に合った保健対策（発育・発達の把握、SIDS予防、感染症対策等）を講じているか	4	
	・健康・安全な生活に必要な習慣や態度が身につくよう取り組んでいるか また家庭への啓発を行っているか	4	
	・避難訓練や交通安全指導を、計画に基づいて適切に実施しているか	4	
	・乳幼児の安全確保のため、家庭・地域社会・関係機関等と連携を図っているか	3	
職員の 資質向上	・職員の研修ニーズを把握し、職員に必要な研修機会を確保しているか	4	研究会、研修会の参加者は、日々の保育に活かしている。園全体で共有する機会をもつことで、更に保育の質の向上につながると考える。
	・研究主題は、教育・保育目標の具現化につながるものであるか	4	
	・研究・研修の成果を日常の保育に生かし、乳幼児の育ちに反映させているか	4	
	・各種研究会、研修会、講習会での内容を園内に還元しているか	3	
職員運営について	・職務内容や相互の連携に必要な情報の共有方法が明確で、協働できる体制になっているか	4	学年、職員室から代表が出て園芸など係の仕事を分担し、園運営を円滑に進めることができた。
	・職員を適材適所に配置し、係や仕事の分担が能率的に行える組織になっているか	4	
	・各種会議や打合せを適切かつ効率的に進めているか	4	
	・職員は公務員としての責務や職場での立場を理解し、協力を惜しむことなく施設の運営にかかわっているか	4	
	・運営改善の課題について把握し、計画的な取り組みを行うとともに、定期的に検証・見直しをしているか	4	
守秘義務の遵守	・乳幼児や保護者に関する個人情報を適正に取り扱っているか	4	個人情報を適正に取り扱っている。
	・公文書收受、発送、処理を適切に行っているか	4	
	・各表簿は、適切に作成、処理しているか	4	

項目		内容	評価	備考欄
開かれたこども園づくり	施設・地域との交流や連携	・他施設等との年間交流計画は、保育目標や課題に添ったものになっているか	4	・近隣の小学校や保育施設との交流が再開し、子どもたちの豊かな経験に繋がっている。 ・参加できる地域の行事についての確認ができていない。
		・地域の様々な人と触れ合う中で、乳幼児が楽しく過ごし、充実感を味わうことができるような配慮や援助・支援を行っているか	4	
		・担当者同士が、事前打ち合わせや活動の振り返りを行い、互惠性のある交流になるように工夫しているか。	4	
		・合同研修や授業・保育の見学を通して互いの教育・保育に対して理解を深めているか	4	
		・乳幼児の興味や関心に基づいて地域の施設等を利用し、保育に活かしてしているか	4	
		・地域の行事に積極的に参加し、地域の文化や生活に触れているか	3	
		・子育て支援機関と情報共有しながら、連携をとっているか	4	
	子育て支援	・施設を開放し、地域の親子が遊べる場や機会の提供を行なっているか	4	地域交流や一時預かり保育の利用者の子育て相談を受け、丁寧な対応をすることで少しでも改善するよう努めた。
		・職員による「育児に係る子育て相談」は充実しているか	4	
		・医療機関、児童相談所等の専門機関と連携を図り、保護者にとって必要な情報を提供しているか	4	
		・一時預かり保育の利用者にとって安心できる場になるよう努めているか	4	
	情報の発信	・園だよりやクラスだより、ホームページ等で教育・保育内容を発信し、理解をしてもらうよう努めているか	3	園外の市民に向けての情報発信の内容、回数について検討が必要である。
		・地域の連絡会等でこども園の取り組みを発信するとともに、地域施設の事業について知り、教育・保育の充実に役立てているか	4	
	外部評価	・第三者評価を導入し、施設運営に反映しているか	4	保護者アンケートなどを通して意見を聞き、改善に向けて対策を行った。
		・地域や保護者の意見を施設運営に反映しているか	4	
施設・設備	・施設内外の設備や遊具の安全点検を計画的に行っているか	4	毎月、園庭や園舎内の安全点検、毎日使用する前に遊具点検を行い、安全に過ごせるようにしている。	
	・遊具や用具等を、活用しやすいように整理、保管しているか	4		
	・災害や不審者等に対応する整備を行っているか	4		
	・掲示板、掲示場所等を適切かつ効果的に活用しているか	4		
経理出納	・各種会計を適正かつ適切に処理しているか	4	適正、適切に処理を行っている。	

成果

○本園では、令和5・6年度幼児教育研究園として、“みんなでつくろう ほっと安心 笑顔いっぱいのこども園～自分も大事 みんなも大事 ”をテーマに掲げ、どのような生活、遊び環境、保育者のかかかわりが子どもの安心や笑顔に繋がっていくのかについて研究を行った。保育者は子どもの表情や言葉、行動から一人ひとりを理解するようにし、どんな玩具や材料、場所を用意すれば楽しめるかなど環境を工夫することを心がけた。また、子どものありのままの姿を受け入れることで保育者と信頼関係ができ、安心して園生活を送る中で、「もういっかいしたい」「もっとこうしたい！」と笑顔で意欲的に過ごす姿が多く見られるようになり、研究で学んだことが子どもの成長や保育の質の向上につながった。

○コロナ禍が明けたことで・・・

・園外での交流が可能になったことで地域連携コーディネーターが中心となり、近隣の小学校や保育施設と交流を企画した。また園内では異年齢児と交流したことが刺激になり、異年齢の子どもを憧れのまなざしで見えて遊びを真似たり思いやったりと遊びも人間関係も広がる経験ができた。

・久しぶりにクッキング保育に取り組み、自分で調理をして食べる楽しさを経験することができたことで、家庭でも子どもたちが調理をするきっかけになっていた。

・参観や行事への保護者の参加人数制限がなくなり、大勢の方に直接こども園での子どもの様子を見ていただき、教育保育について理解していただく機会にもなった。子どもたちも緊張感を感じながら見てもらうことが励みになり、張り切る姿が多く見られた。

○看護師が毎月手洗いについてなど保健指導を行い、指導で使った教材を廊下に掲示することで親子で見る機会が増え、自然に健康面に関心をもち、保護者啓発にもつながっている。

○担当者が様々な利用者に寄り添い、丁寧な対応をすることで一時預かり保育やひろばに多くの利用者が訪れた。その中で子育ての不安や悩みの相談を受けることで利用者が前向きに考えるきっかけになっており、子育て支援の拠点として在宅家庭を支える役割を担っていると感じる。

課題

・研究会や研修会に参加できる人数が限られているため、希望者の参加調整が難しい。また、研修報告をする時間の確保が難しく、学んだことを全体で共有する機会の工夫が必要である。

・近隣の地域、施設との交流が出来る
つつあるが、「子どもの安全確保のため、地域社会・関係機関が等と連携を図る」までに至っていない。今後起こり得る災害時における対応についても近隣施設と話し合う機会をつくり、連携を取っていきたい。

・保護者のアンケートから外部侵入対策の更なる強化が求められていることがわかった。

・こども園での取り組みについて多くの市民へ周知していくために情報発信の内容や回数の検討が必要である。

改善策

・年間を通して多くの職員が学びたい研修、研究会に参加することができるよう計画を立て、一人ひとりの資質向上をめざしていく。また、研修、研究会に参加後すぐに報告ができるよう時間の確保と工夫をし、園全体で学んだことの共有をしていく。

・職員間で災害時における判断や対応について毎月の避難訓練を通して課題を改善するよう心がけるとともに、地域とどのように連携をして災害対策を行うかについても話し合い、地域の会議や交流会時に提案をしていく。

・保護者証を忘れないよう保護者に啓蒙するとともに忘れた人への対策をし、安全委員との連携を再度確認しながら外部からの侵入者が入らないように対策を強める。

・ホームページに掲載する記事を役割分担して準備し、計画的にホームページを更新していく。